

広島大学 FE・SDGs ネットワーク拠点 第 11 回ウェビナーにて講演を行いました (2021/6/17)

テーマ：防災、NGO、紛争

会場：オンライン

URL: <https://nerps.hiroshima-u.ac.jp/>

6月17日に、広島大学 FE・SDGs ネットワーク拠点（NERPS）が主催するウェビナーにて、泉貴子准教授（国際防災戦略研究分野）が“Disaster Risk Reduction under Conflict Situation : NGO’s involvement in DRR implementation” と題した招待講演を行いました。冒頭では、広島大学理事・副学長（グローバル化担当）、大学院人間社会科学研究科教授および広島大学 FE・SDGs ネットワーク拠点の金子慎治拠点長よりご挨拶をいただきました。

講演の中で泉准教授は、「仙台防災枠組」では紛争下における防災に関する記述はなく、そうした厳しい状況の中でいかに防災対策を実施・継続するかは大変大きな課題であると同時に、SDGs の概念の中でも今後検討していかなければならない重要課題の一つであると述べました。通常、防災は平和的状况の国々において実施され、紛争下にある国々においては防災戦略などの優先順位は低くなってしまいます。このような中では、現地で長期間にわたり様々な活動を行っている国際・国内 NGO の役割が大きくなっていることを、アフガニスタンやフィリピンの事例をもとに解説しました。

講演後の質疑応答の時間では、「女性への災害による被害や、女性・子供への効果的な災害リスクコミュニケーションについて」「外国人やマイノリティへの災害情報の伝え方」「AIなどを駆使した未来の防災対策」「NGO や CBO（コミュニティを中心とする組織）の役割」などに関する質問がだされ、活発な議論が行われました。

2022年3月には広島大学にてシンポジウムが予定されており、その際の連携などについて、今後意見交換等を継続していくこととなっています。



文責：泉貴子（国際防災戦略研究分野）